

「JR小樽駅前広場再整備基本計画」の策定について

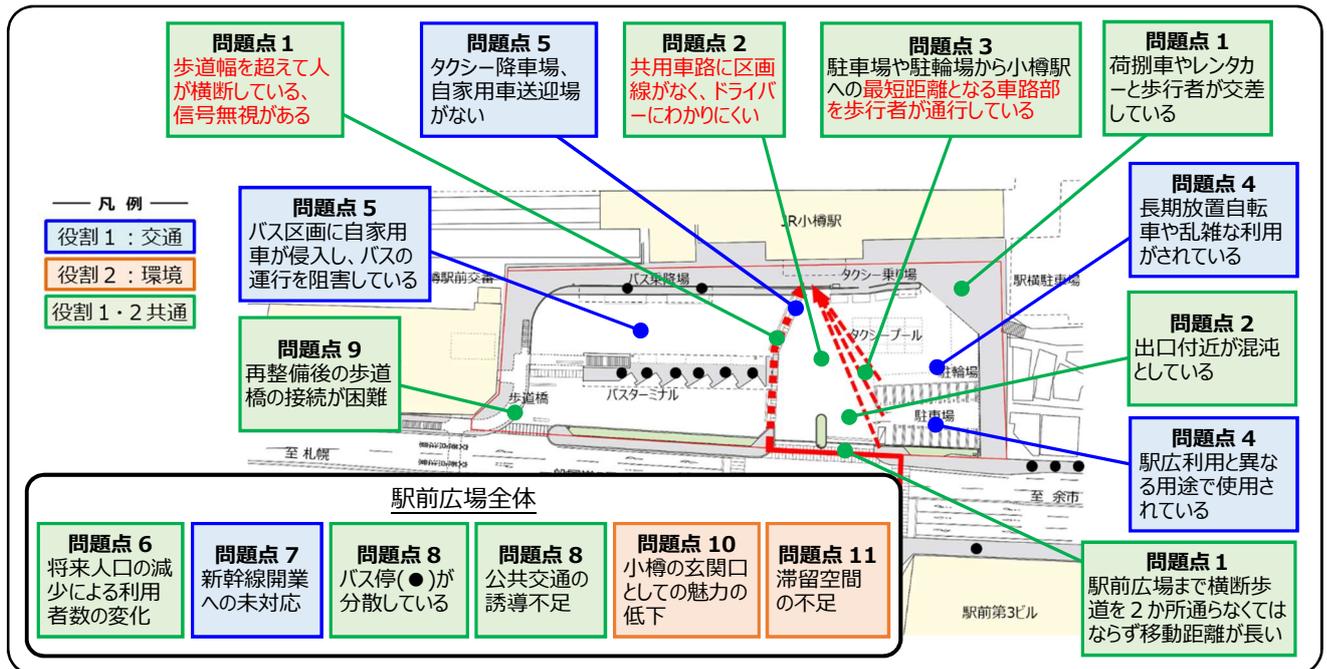
○背景

小樽駅前広場は整備完了から40年以上が経過し、現在では歩行者と車両の輻輳や車路を歩行者が乱横断するなど、安全上の課題が出てきています。

一方で、隣接する駅前第1ビルの再々開発や、北海道新幹線札幌延伸が予定されており、本市を取り巻く環境も大きく変わろうとしていることから、駅前広場の現状整理や必要な機能の見直しを行い、新たな整備方針となる「JR小樽駅前広場再整備基本計画」を令和4年5月に策定しました。

○現状

現在の小樽駅前広場の問題点は以下の11項目が挙げられますが、特に問題点2及び5のような車両の輻輳に関するもの、問題点1及び3のような歩行者の乱横断といった安全上の課題があります。



○基本コンセプト・整備方針

本市では、「安全性」や「利便性」を考慮した、にぎわいのある新たな駅前広場を目指すため以下の基本コンセプト等を設定しました。

基本コンセプト

**『小樽の玄関口』にふさわしい
質の高い駅前広場の創出**

再整備方針 1

安全性と利便性の高い交通拠点づくり

- 安全・安心な交通広場機能の確保
- 新幹線開業後の需要への対応

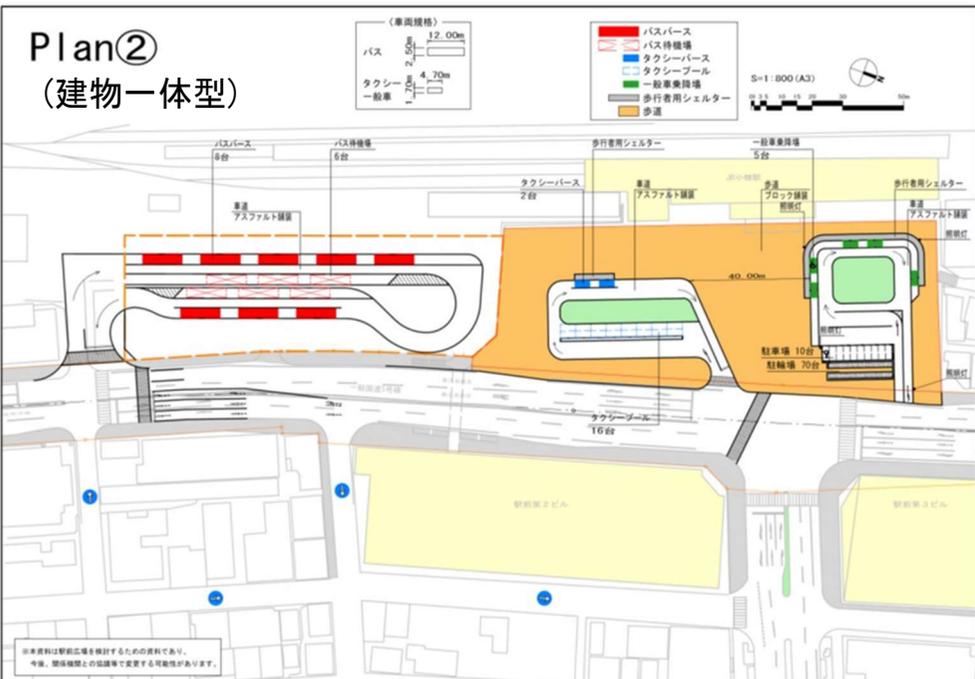
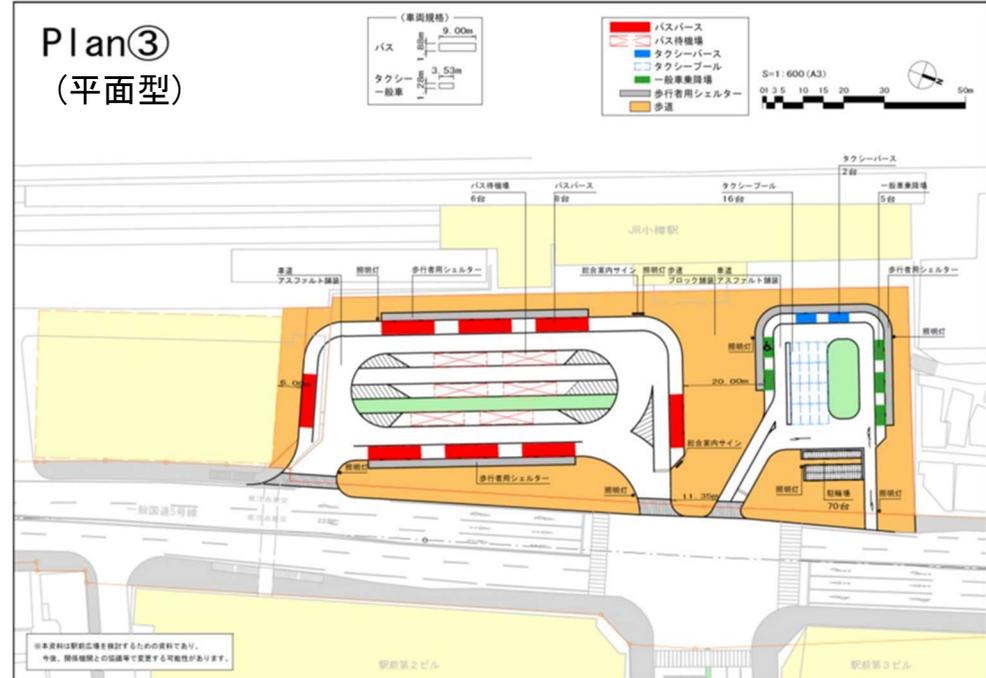
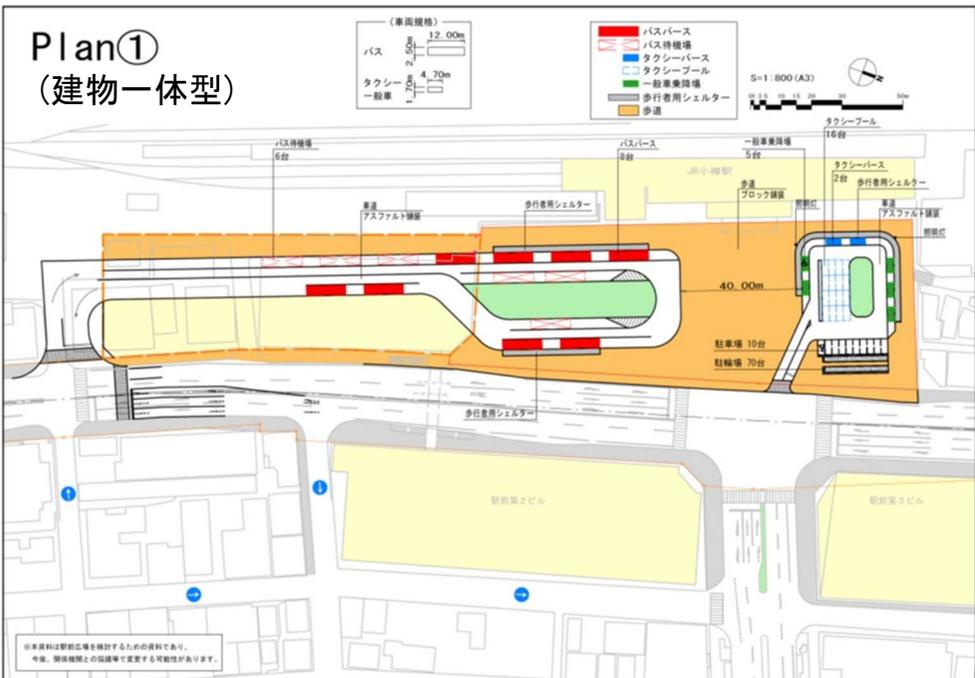
- 交通結节点機能の強化
- 再開発事業等との広場機能分担

再整備方針 2

周辺と一体となった魅力ある空間の創出とにぎわいづくり

- 安全で快適な歩行空間の確保
- 景観の保全（駅と海）
- 災害時にも活用できる歩行者骨格軸を起点としたオープンスペースの確保

- 交流拠点機能の向上
- 交通アクセス情報提供施設の配置



○再整備案

・基本コンセプトや再整備方針を踏まえ作成した3つの案を本計画の再整備案としました。